



教育目標
豊かな心を持ち、生き生きと活動する子どもの育成

〈めざす子どもの姿〉

- ・自分で学び、行動する子
- ・多様性を尊重し、ともに高め合う子
- ・体をきたえ、命を大切にする子

「子どもが真ん中」となる教育活動をめざして

＊子どもを中心に据えた相互コミュニケーション力をアップ
小規模であることを活かして「**スモールスクール テイクパーフェクト**」

〈めざす学校の姿〉

- ・すべての子どもが認められ活躍できる学校
- ・保護者、地域、社会とつながり、ともに歩む学校
- ・教職員がやりがいを持って教育活動を行う学校

1 確かな学力を育てる(新教育プログラム 1・2・3)

小規模の強みを活かした教育活動の推進

- ①自主性と創造性を高める多彩な体験・発信型学習の充実
 - 一人ひとりが必ず体験できる機会を柔軟に計画・実行
 - 相互学習で考え方を広げる
- ②論理的思考力を高める授業づくり
 - 思考スキルの充実 ○協働的な学び
- ③「読む・話す・伝える」思考力、判断力、表現力の育成
 - 読解力を育む「20の観点」をもとに全学年で推進
- ④ICT教育の充実
- ⑤基礎的・基本的な力を育むきめ細やかな指導
 - チャレンジタイム・少人数指導・日本語指導

2 こころとからだを育てる(新教育プログラム 4)

～問題解決能力を育成～

- ①学びに向かう力
 - 多様性を尊重するなかまづくりの推進（Q/U活用）
 - 自己肯定感の向上
 - 学校チームで考え合う人権教育の実施
- ②進んで運動に親しみ体力向上を図る活動の推進
 - 体を動かす遊びの充実 ○児童体育委員の発信を活かす
 - 低・中学年の運動量確保（中学校乗入を活かして）
- ③基本的な生活態度の育成、基本的な生活習慣の定着
 - 規範意識の修得 ○健康・安全意識の向上
 - 学校保健委員会の実施

3 夢と志を育てる(新教育プログラム 5・6)

～こころとからだの健全な育成～

- ①人間性の育成
 - いじめ調査の実施と教育相談
 - 児童の創意・発信力を高める
 - 道徳教育の充実
- ②コミュニケーション能力の向上
 - 小規模アシスト事業で他校児童と継続交流
 - 非認知能力の向上（やり抜く力・つながる力）
- ③地域・文化を活かしたキャリア教育の推進
 - 地域連携の学習体験・文化継承体験
 - キャリア教育の小中連携（中学校長の乗入）

**中学校区で
育成・評価・承認**



中部中学校区学びの一体化



4 全ての子どもを伸ばす学校

全ての子どもの能力を伸ばそうとするチーム力の強化

- ①校内研修の充実
 - 子どもが問いを持ち続け、問題解決能力を高める授業づくり ○ICT活用
- ②教科担任制を生かした専門的な指導・深い子ども理解
 - 児童に魅力的な授業づくり ○全職員による子ども理解
- ③特別支援教育の充実
 - 組織的な支援体制（生徒指導と特別支援が一体となった組織対応）
 - 一人ひとりの教育的ニーズに応じた途切れのない支援（サポートルーム）
 - きめ細かな支援体制、関係機関との連携 ○個別最適な学びの実現
- ④学びの一体化での授業研究
 - 小中連携人権フォーラム、各校園の授業公開、保小中乗り入れ授業

5 学校教育力の向上

家庭・学校・地域 相互コミュニケーション力の向上

- ①「チーム学校」としての組織力強化（地域に開かれた学校づくり）
 - コミュニティスクールによる学校運営の充実
 - 運営協議会5回開催（授業参観等）・地域関係者との連携協力
 - 地域教育力の活用
 - （図書ボラ・地域協働の防災学習・諏訪太鼓・保存文化財・地域探検・地場産等体験学習）
- ②家庭・地域・学校の協働の推進
 - 学校と家庭とのとぎれない学びで学習習慣を定着化
 - ホームページやH&S(便り)による発信、より多くの方への学校開放
- ③働きやすい職場環境の充実
 - 総勤務時間の縮減（定時退校日＆ノー会議デー、終礼での終業確認）